

【施工実績】

札幌市路面電車ループ化電気設備新設工事

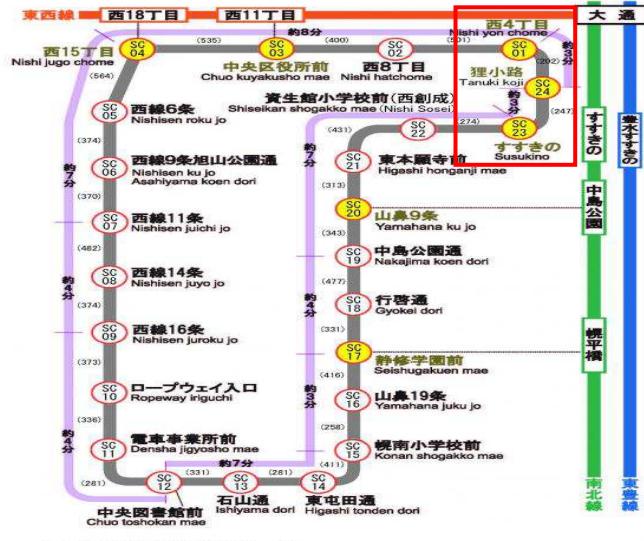
札幌市電（都心線）は、「西4丁目」と「すすきの駅」停留場との間、約400mの路線がつながり、2015年12月20日にループ化（環状化）開業しました。狸小路には新たな停留場が新設され、利便性向上のため歩道から直接電車に乗れるサイドリザベーション方式が採用されました。

当社は主に、架線、電化柱、信号機の設置およびすすきの停留場のセンターポール化の電源工事等を担当し、当該事業に貢献しました。

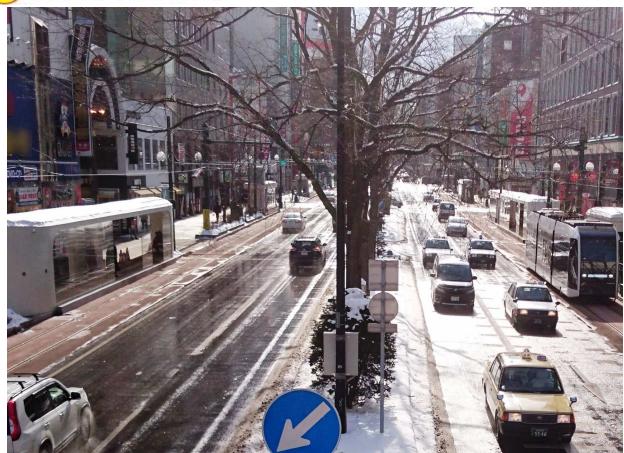


西4丁目停留場付近

電車線・信号設備



札幌市交通局資料より



狸小路停留場

電車線



すすきの停留場（施工中）

電車線・電灯電力



すすきの停留場

電車線・電灯電力

※センターポール化：架線柱を道路中央に設置することで、くもの巣状の架線をなくし都市の景観を向上させる方式